



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

| | |
|--|---|
| 上場会社名 共立印刷株式会社 コード番号 7838 代表者 (役職名) 代表取締役社長 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・ <input type="checkbox"/> 無 四半期決算説明会開催の有無 : 有・ <input type="checkbox"/> 無 | 上場取引所 東 URL http://www.kyoritsu-printing.co.jp/ (氏名) 野田 勝憲 (氏名) 木村 純 TEL 03(5248)7800 配当支払開始予定日 — |
|--|---|

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第1四半期 | 7,274 | △5.9 | 180 | 53.3 | 138 | 75.8 | 61 | 53.6 |
| 22年3月期第1四半期 | 7,732 | △12.5 | 117 | △71.0 | 78 | △78.7 | 39 | △79.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 1.47 | — |
| 22年3月期第1四半期 | 0.95 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 29,857 | 10,239 | 34.3 | 245.97 |
| 22年3月期 | 29,253 | 10,259 | 35.1 | 246.44 |

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 10,239百万円 22年3月期 10,259百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 1.50 | — | 2.00 | 3.50 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | 2.00 | — | 2.00 | 4.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 15,900 | 0.5 | 370 | 26.9 | 245 | 22.1 | 105 | 14.2 | 2.52 |
| 通期 | 32,500 | 0.4 | 920 | 11.0 | 670 | 3.5 | 315 | 3.6 | 7.57 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
 新規 一社（ ） 、除外 一社（ ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

- ② ①以外の変更 : 有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期1Q | 41,630,000株 | 22年3月期 | 41,630,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 66株 | 22年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 41,629,983株 | 22年3月期1Q | 41,630,000株 |

-

-

（※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示）

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

（※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項）

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|------|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | P. 2 |
| 2. その他の情報 | P. 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | P. 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | P. 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | P. 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | P. 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | P. 7 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 7 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、ギリシャ危機に端を発した欧州の信用不安などから先行き不透明感が強まり、輸出産業を中心とした企業の業績回復傾向に下振れリスクの懸念がみられます。

当印刷業界におきましては、国内においても電子書籍が発売されるなど様々な形で情報のネット化が進む中、出版・雑誌市場が縮小傾向にあり厳しい経営環境が続いております。

そのような中で当社は、前期より取り組んでおります製造人員の効率化や物流費の削減が収益向上に寄与いたしました。

これらの結果、当第1四半期の業績は、売上高が72億7千4百万円（前年同四半期比5.9%減少）となりましたものの、営業利益は1億8千万円（前年同四半期比53.3%増加）、経常利益は1億3千8百万円（前年同四半期比75.8%増加）、四半期純利益は6千1百万円（前年同四半期比53.6%増加）となり、減収・増益となりました。

（売上高）

当第1四半期の売上高は前年同四半期比4億5千7百万円（5.9%）減少し、72億7千4百万円となりました。

商業印刷につきましては、一部の流通チラシにおいて受注数量の増加等はありませんでしたが、チラシ・カタログともに受注量が減ったことにより、前年同四半期比3億4千7百万円（5.8%）減少し、56億9千4百万円となりました。

出版印刷につきましては、書籍・雑誌市場が低迷するなか、紙媒体からネット媒体への移行が進んだことにより、前年同四半期比1億4百万円（6.3%）減少し、15億5千2百万円となりました。

（営業利益）

営業利益は、売上高が減少いたしましたものの、製造人員の効率化や物流費の削減といったコスト管理の見直しをしたことにより前年同四半期比6千2百万円（53.3%）増加し、1億8千万円となりました。

（経常利益）

経常利益につきましては、支払利息が増加いたしましたものの、営業利益の増加が主な増益要因となり、前年同四半期比5千9百万円（75.8%）増加し、1億3千8百万円となりました。

（四半期純利益）

四半期純利益は、前年同四半期比2千1百万円（53.6%）増加し、6千1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、132億5千7百万円となりました。これは、現金及び預金が2億2千万円増加したものの、受取手形及び売掛金が5億8千8百万円減少したことなどによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、166億円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、298億5千7百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、107億8千4百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が9億4千6百万円減少したことなどによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.7%増加し、88億3千3百万円となりました。これは、長期借入金が1億8千万円増加したことなどによりです。

この結果、負債合計は、196億1千8百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、102億3千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しにつきましては、平成22年5月7日に公表のとおり、売上高325億円、営業利益9億2千万円、経常利益6億7千万円、当期純利益3億1千5百万円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 税金費用の計算

税金につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

2. 実地棚卸の省略

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

3. 退職給付引当金

期首に算定した年間の退職給付費用及び数理計算上の差異につきましては、期間按分した額を四半期連結会計期間に計上しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,468,318 | 7,247,842 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,800,609 | 5,388,685 |
| 製品 | 84,366 | 119,986 |
| 仕掛品 | 187,846 | 237,367 |
| 原材料及び貯蔵品 | 175,253 | 158,642 |
| その他 | 545,715 | 444,363 |
| 貸倒引当金 | △5,048 | △5,095 |
| 流動資産合計 | 13,257,061 | 13,591,794 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 10,447,288 | 10,441,838 |
| 減価償却累計額 | △4,593,463 | △4,504,546 |
| 建物及び構築物(純額) | 5,853,824 | 5,937,291 |
| 機械装置及び運搬具 | 9,948,447 | 10,201,222 |
| 減価償却累計額 | △7,956,979 | △8,075,607 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,991,468 | 2,125,614 |
| 土地 | 5,130,651 | 5,130,651 |
| その他(純額) | 1,738,508 | 654,001 |
| 有形固定資産合計 | 14,714,452 | 13,847,558 |
| 無形固定資産 | 81,942 | 79,097 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,804,840 | 1,735,784 |
| 貸倒引当金 | △300 | △300 |
| 投資その他の資産合計 | 1,804,540 | 1,735,484 |
| 固定資産合計 | 16,600,936 | 15,662,140 |
| 資産合計 | 29,857,997 | 29,253,934 |

(単位:千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,195,653 | 7,141,967 |
| 短期借入金 | 450,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,194,160 | 3,046,160 |
| 未払法人税等 | 68,789 | 216,511 |
| 賞与引当金 | 78,534 | 153,854 |
| その他 | 797,495 | 595,375 |
| 流動負債合計 | 10,784,632 | 11,153,868 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 7,094,270 | 6,913,560 |
| 退職給付引当金 | 537,168 | 530,391 |
| その他 | 1,202,081 | 396,703 |
| 固定負債合計 | 8,833,519 | 7,840,654 |
| 負債合計 | 19,618,152 | 18,994,523 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,511,350 | 2,511,350 |
| 資本剰余金 | 2,505,480 | 2,505,480 |
| 利益剰余金 | 4,973,404 | 4,995,639 |
| 自己株式 | △9 | — |
| 株主資本合計 | 9,990,224 | 10,012,469 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 249,621 | 246,940 |
| 評価・換算差額等合計 | 249,621 | 246,940 |
| 純資産合計 | 10,239,845 | 10,259,410 |
| 負債純資産合計 | 29,857,997 | 29,253,934 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 7,732,618 | 7,274,820 |
| 売上原価 | 7,008,326 | 6,500,990 |
| 売上総利益 | 724,292 | 773,829 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 149,465 | 159,120 |
| 賞与引当金繰入額 | 29,787 | 31,836 |
| 退職給付費用 | 3,647 | 2,989 |
| 運賃 | 145,219 | 138,547 |
| その他 | 278,369 | 260,786 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 606,489 | 593,280 |
| 営業利益 | 117,802 | 180,549 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 145 | 75 |
| 受取配当金 | 11,286 | 11,196 |
| その他 | 912 | 1,658 |
| 営業外収益合計 | 12,344 | 12,930 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 47,415 | 51,552 |
| その他 | 3,732 | 3,050 |
| 営業外費用合計 | 51,147 | 54,602 |
| 経常利益 | 78,999 | 138,876 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 89 | 47 |
| 特別利益合計 | 89 | 47 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 459 | 18,050 |
| 投資有価証券評価損 | 2,576 | 1,012 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 4,968 |
| その他 | — | 118 |
| 特別損失合計 | 3,035 | 24,150 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 76,054 | 114,774 |
| 法人税等 | 36,322 | 53,750 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 61,024 |
| 四半期純利益 | 39,731 | 61,024 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。